

磐梯町総合計画

第1部 序 論

第2部 基本構想

第3部 基本計画

第4部 国土強靱化

令和2年3月

福島県磐梯町

自分たちの子や孫たちが暮らし続けたい

魅力あるまちづくり

～共創・協働のまちづくり～



昭和、平成を経て、時代は令和へと移りました。「令和」の出典でもあります万葉集において「会津嶺」と詠われた磐梯山の里である磐梯町は、平安時代初期の名僧徳一によって開かれた国指定史跡慧日寺跡を有する会津仏教文化発祥の地として、歴史と伝統・文化を受け継いでまいりました。

これまで本町では、まちづくりの基本指針として振興計画を策定し、事業を進めてまいりましたが、この間、少子高齢化の急速な進行や都市部への人口流出、さらに東日本大震災をはじめとした度重なる自然災害の発生など、本町を取り巻く状況は常に変化し続けています。

このような目まぐるしく変化する社会情勢や多様化する住民ニーズに対応すべく、これからは単なる振興ではなく、総合的な視点から様々な事業を組み合わせ、まちづくりに取り組んでいかななくてはならないことから、従来の振興計画を見直し、令和9年度を最終年度とする8年間のまちづくりの基本指針となる「磐梯町総合計画」を新たに策定いたしました。

総合計画では、「自分たちの子や孫たちが暮らし続けたい魅力あるまちづくり」を目指すべき将来像に掲げ、4つの基本目標「未来へ繋がるまちづくり」、「やりがいのある仕事づくり」、「充実した暮らしづくり」、「共創協働のまちづくり」を設定し、それぞれの分野において設定した数値目標を達成すべく、透明性のある事業を展開してまいります。

これからのまちづくりは、行政と町民が一体となって、共に創りあげていくことが重要となってきます。町民の皆様の一層のご理解とご協力、そしてこれまで以上の積極的なご参加を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、計画の策定に携わって頂きました町議会と町総合計画審議会の皆様に心から感謝申し上げます。併せて挨拶とさせていただきます。

令和2年3月

磐梯町長

佐藤淳一

目 次

■ 序 論.....	- 1 -
第1節 はじめに.....	- 2 -
第2節 磐梯町の現状と課題.....	- 4 -
■ 基本構想.....	- 9 -
第3節 めざすべき将来像.....	- 10 -
■ 基本計画.....	- 13 -
● 未来へ繋がるまちづくり.....	- 15 -
・ 子育て.....	- 16 -
子育て.....	- 16 -
・ 教育・生涯学習・スポーツ.....	- 20 -
学校教育.....	- 20 -
生涯学習・スポーツ.....	- 24 -
・ 歴史・文化・交流.....	- 28 -
歴史・文化.....	- 28 -
交流.....	- 32 -
● やりがいのある仕事づくり.....	- 35 -
・ 農林業.....	- 36 -
農業.....	- 36 -
林業.....	- 42 -
有害鳥獣対策.....	- 44 -
・ 商工業.....	- 46 -
商工業.....	- 46 -
・ 観光.....	- 50 -
観光.....	- 50 -
● 充実した暮らしづくり.....	- 53 -
・ 健康・医療・福祉.....	- 54 -
健康.....	- 54 -
医療.....	- 58 -
福祉.....	- 60 -

・安全・安心.....	- 64 -
防災・安全対策.....	- 64 -
公共交通.....	- 68 -
道路.....	- 70 -
・生活・環境.....	- 72 -
環境保全・ゴミ.....	- 72 -
上下水道.....	- 76 -
移住・定住.....	- 80 -
● 共創協働のまちづくり.....	- 83 -
・協働のまちづくり.....	- 84 -
協働のまちづくり.....	- 84 -
・行財政運営.....	- 88 -
財政基盤.....	- 88 -
・共生社会・デジタル変革.....	- 92 -
共生社会・人権.....	- 92 -
デジタル変革.....	- 94 -
■ 国土強靱化.....	- 99 -
・国土強靱化.....	- 100 -
国土強靱化地域計画.....	- 100 -